

稲作だより

～第7号 茎数確保・中干し編～

生育のバラつき大きい！圃場に合わせた管理を!!

6月20日現在における普及課の調査圃では、高温により生育が進み、回復基調となっています。ただし、移植が遅かった圃場、深水となっている圃場では依然として茎数が少ない状況です。茎数が不足している圃場では浅水管理とワキ対策を継続して茎数確保に努め、有効茎数を確保した圃場から中干しに入りましょう。

葉色が濃い圃場が多いため、いもち病の発生が懸念されます。水面施用剤等により適切に防除を行いましょう。

1 生育概況

品種 (地域)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
はえぬき (尾花沢市尾花沢)	本年	30.9	306	7.2	39.4
	平年	30.6	313	7.3	37.7
	平年比・差	101%	98%	-0.1	+1.7
つや姫 (村山市河島)	本年	33.2	346	8.1	42.8
	平年	35.4	393	7.3	42.7
	平年比・差	94%	88%	+0.8	+0.1
雪若丸 (東根市野田)	本年	33.0	577	8.7	46.4
	平年	28.7	439	7.8	47.3
	平年比・差	115%	131%	+0.9	-0.9

2 当面の技術対策

有効茎数を確保したら中干しに入りましょう。

有効茎数に満たない圃場は、浅水管理やワキ対策を行い、茎数確保に努めましょう。

各品種の有効茎数の指標

品種	有効茎数 (本/㎡)	茎数 (本/株)	
		坪70株植え	坪60株植え
はえぬき	480	23	26
つや姫	410	19	22
雪若丸	560	26	30

(1) 茎数確保が遅れている圃場では、浅水管理とワキ対策で茎数確保を！

- ・茎数不足→**水深2～3cmの浅水管理**（夜間や早朝に水を入れ、水温・地温を高める）
- ・土壌の「ワキ」や葉色の低下→すぐに（夜間）落水し、水を交換する。

◎以上の対策を行い、6月中に有効茎を確保しましょう。

(2) 中干し

【中干しの効果】

- ・ 土壌に酸素が補給され、イネの上根が伸長する。
- ・ 窒素の吸収を抑制して、過剰な無効分げつを抑える。
- ・ 田面が締まり、秋のコンバイン収穫が効率的に行える。

【中干し終了の目安】

- ・ 地力と生育量に応じて中干しの程度を調整します。

地力と生育量に応じた中干し終了の目安

地力と生育量	中干し終了の目安
地 力：低～並 生育量：並～良	7～10日程度 田面に小ヒビが入り、歩ける（足跡が残る）
地 力：高 生育量：過多	11～15日程度 根の損傷を防ぐため、黒乾亀裂ができない程度 生育量が過剰の場合は走水を行いながら強めの中干し

(3) 作溝

【作溝の効果】

- ・ 中干しの効果が高まる。
- ・ 効率よく圃場全体に水を行き渡らせることができ、登熟期の水管理が容易になる

【作溝施工の目安】

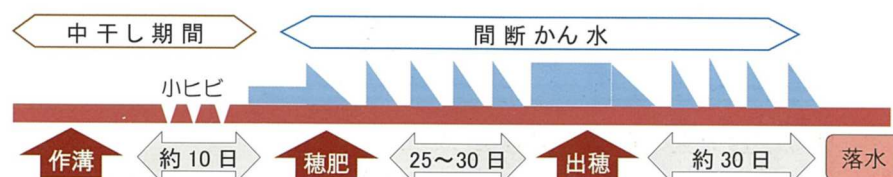
- ・ 地面が少し硬くなった段階で作溝を掘る。
- ・ 間隔は3～5mを目安に、圃場の乾きやすさによって変える。

(4) 中干し後の水管理

- ・ 中干し後は走水を行い、出穂まで間断かん水（2日湛水2～3日落水）を繰り返します。
- ・ 出穂期は稲が最も水を必要とする時期です。出穂期は湛水管理を行いましょう。
出穂期の目安はスマートつや姫の機能でチェックできます（詳しくは第6号を check）

◎大切な用水です。土地改良区等の情報を基に、適期・適正にかん水を行いましょう。

【中干し後の水管理のイメージ】



(5) いもち病に注意！！

- ・ 今年度は葉色が濃い圃場が多く、葉いもちの発生が懸念されます！
- ・ 水面施用剤の施用等により適切に防除を行いましょう（使用時期はラベルを要確認！）
- ・ 取り置き苗を置いている場合は今すぐに処分しましょう

◎農作業安全を徹底しましょう！熱中症対策も忘れずに！！
水分、ミネラルを十分に補給。こまめに休憩をとりましょう